

第 四 編

警 察 衛 生 等



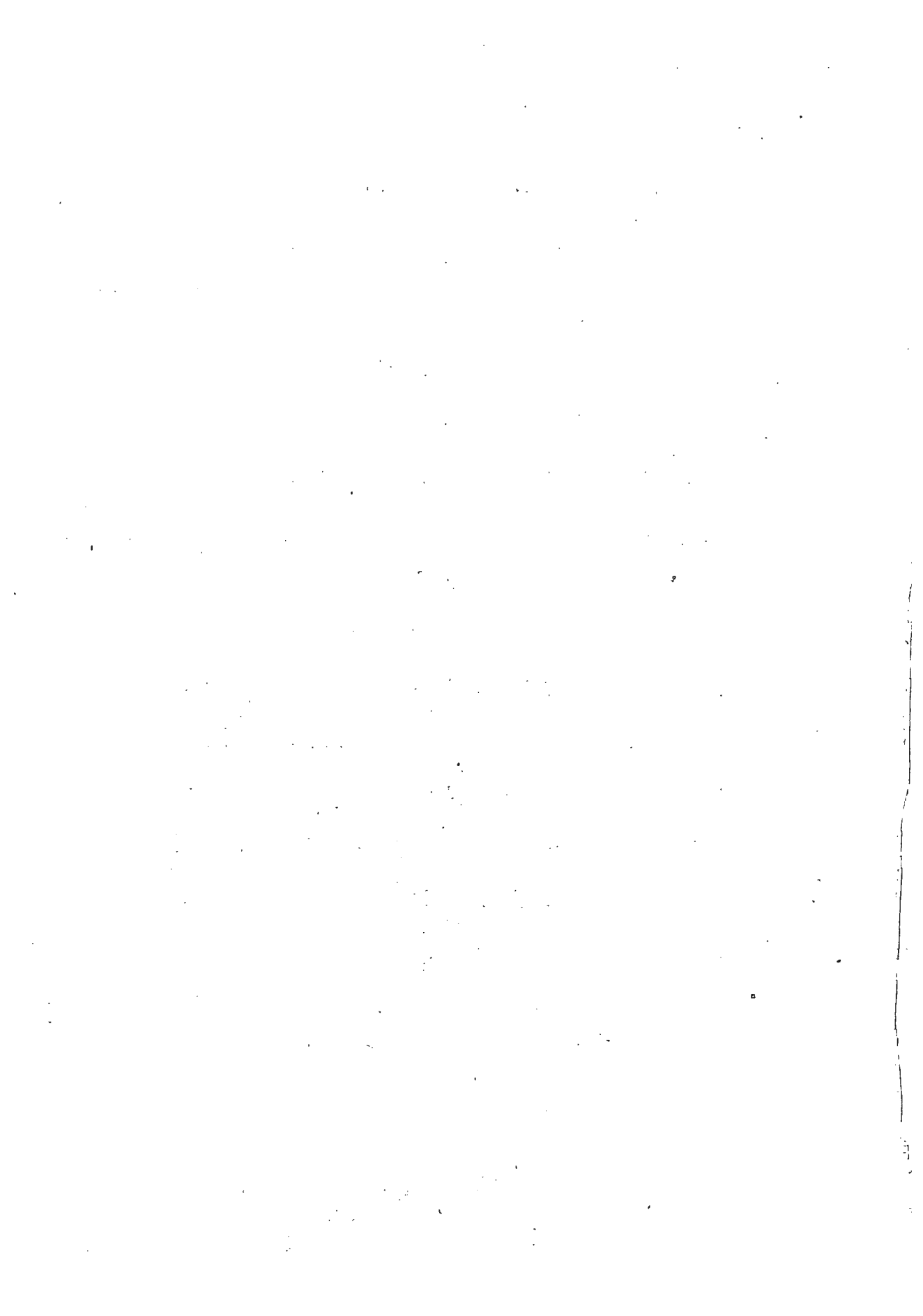
緒 言

福井縣統計書ハ縣下行政其ノ他各般ノ統計ヲ蒐集シ既往現在ノ狀勢ヲ大觀セムカ爲編纂セル所ニシテ毎年之ヲ刊行シ今ヤ昭和四年ノ統計書ヲ出スニ至レリ本書編ヲ分ツコト四其ノ一ヲ土地戸口等、其ノ二ヲ學事、其ノ三ヲ産業、其ノ四ヲ警察衛生工場等トス

各編収録スル所主トシテ市町村、學校ノ報告及廳内ノ調査ヨリ之ヲ得又往往關係官公署會社等ノ供給ニ求メタルモノアリ蓋シ學術ノ進歩世運ノ推移ニ因リ統計ノ用漸ク多キヲ加フ故ニ材料益々正確調査愈精密ヲ期セサルヘカラス是ヲ以テ常ニ意ヲ注キ又新ニ收載シ或ハ表象方法ヲ更メタルモノ鮮シトセス然リト雖尙未タ遺憾ナキヲ得ス此等ハ漸ヲ以テ改善シ其ノ需要ニ適應セシムル所アラムトス

昭和六年二月

福井縣知事官房



昭和四年 福井縣統計書

第四編(警察衛生等)目次

警 察

1	警察部職員配置(定員).....	3
2	警察署職員配置(定員).....	3
3	警部補巡查勤続年數及俸給.....	3
4	警部補退隱料遺族扶助料及諸給.....	4
5	巡查退隱料遺族扶助料及諸給.....	5
6	巡查採用及教習.....	5
7	警察上ノ賞與.....	5
8	警察共濟組合救濟金.....	6
9	警察上死傷者.....	6
10	警察電話.....	7
11	令狀執行件數.....	7
12	諸犯罪檢舉ノ一.....	8
13	諸犯罪檢舉ノ二.....	8
14	諸犯罪檢舉ノ三.....	9
15	未成年者喫煙禁止法違反.....	9
16	檢 死.....	10
17	檢 証.....	10
18	檢視者及檢証者.....	11
19	盜 離.....	11
20	盜離物.....	12
21	盜離物發見.....	13
22	遺失物處分.....	12
23	賊捨置物.....	14
24	火 災.....	15
25	火災原因.....	14
26	火災損失及死傷.....	16
27	消防組.....	16
28	自殺者.....	17
29	變 死.....	17
30	自殺者ノ年齡及因由別.....	18
31	救 護.....	19
32	密賣淫及媒介容止者處分.....	20
33	行政執行處分.....	20
34	集會及結社.....	21
35	銃砲及火藥類免許賣買.....	21
36	狩獵免狀下附人員.....	22
37	捕獲鳥獸數.....	22
38	貸座敷及藝娼妓數.....	23

39	演劇興行.....	23
40	寄席興行.....	23
41	活動寫眞興行.....	23
42	質屋及質物.....	24
43	質屋及古物商取締法ニ依ル徵收物件.....	24
44	説諭及保護.....	25
45	取締諸營業者數.....	24
46	宿屋宿泊人員.....	26

衛 生

47	醫 師.....	26
48	齒科醫師.....	27
49	藥劑師、藥種商、製藥者及阿片販賣者.....	28
50	賢 藥.....	28
51	鍼灸、按摩及整復術.....	29
52	看護婦.....	29
53	產婆、看護婦、理髮試驗.....	29
54	產 婆.....	29
55	鍼術、灸術、按摩術試驗.....	30
56	トラホーム患者.....	30
57	トラホーム檢診成績.....	31
58	傳染病患者.....	31
59	傳染病患者死者年齡別.....	32
60	娼妓健康診斷.....	32
61	花柳病患者.....	33
62	中 毒.....	34
63	屠殺檢査.....	35
64	衛生試驗.....	35
65	病 院.....	36
66	病院患者病類別.....	36
67	傳染病院及隔離病舎.....	37
68	種痘ノ一.....	38
69	種痘ノ二.....	38
70	娼妓病院.....	39
71	衛生ニ關スル諸犯罪處分別.....	39
72	死亡總數ト結核病死亡者數トノ比較.....	40
73	マラリヤ患者年齡別.....	41
74	精神病者.....	41

工 場

75	工場臨検	42
76	適用工場數年次比較	42
77	警察署管別適用工場數	43
78	警察署管別適用工場職工數	44
79	事業ノ性質危険又ハ衛生上有害ナル工場數年次比較	46
80	事業ノ性質危険又ハ衛生上有害ナル工場ノ職工數年次比較	46
81	寄宿舍ノ設アル工場及寄宿職工數年次比較	47
82	寄宿舍ノ設アル適用工場數及寄宿職工數	47
83	工場災害調	48
84	職工扶助金額調	50
85	工業主ノ管理スル職工貯蓄金額	50
86	工場法違反	51

87	取締原動機	51
88	動力傳導裝置ニ因ル災害	51

健康 保 險

89	保險經濟收支狀況調	52
90	工場事業場並被保險者數	52
91	業態別工場事業場及被保險者數	53
92	保險給付	53
93	傷病類別患者(業務上)	54
94	傷病類別患者(業務外)	54
95	死亡原因病類別調	55

雜

96	新聞紙	56
----	-----	----

總 說

警 察

警 察 區 劃

昭和四年末現在ニ於ケル縣警察行政區劃ハ其ノ監督廳タル警察部ノ下ニ警察署十三、警部補派出所三、巡查部長派出所十六、巡查派出所二十三、巡查駐在所百五十九ヲ置キ一市百七十八ヶ町村ノ警察事務ヲ管理セシメ以テ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ縣民ノ幸福維持ニ努メツ、アリ

警 察 官 吏

昭和四年末現在ノ警察官吏ハ警察部長一名、警視四名、警部二十二名、警部補三十名、巡查部長七十四名、巡查四百三名、總數五百三十四名ニシテ前年ニ比シ五名ノ減員ヲ示セリ

巡 査 勤 績 年 數

昭和四年末現在巡查總數四百七十七名ヲ其ノ勤績年數別ニ觀レバ五年以上十年未滿百六十四名(三割四分)最多ニシテ之ニ亞ケハ十年以上十五年未滿六十一名(一割二分)三年以上四年未滿五十六名(一割一分)二年以上三年未滿五十二名(一割)等ナリ

火 災

昭和四年中ノ火災發生度數ハ三百〇一件ニシテ失火二百七十七件(八割九分七厘)ヲ占メ放火十七件(五分六厘)雷火及不審火十四件(四分六厘)ナリ而シテ延燒セシ度數三十六件延燒セザリシ度數九十二件直ニ消止メタル度數百六十二件ナリ
火災ニ罹リシ軒數ハ二百七十四軒内全戸燒失二百二十四軒ヲ算シ其ノ燒失總坪數ハ五千四百九坪三合損失財產見積額ハ五十三萬七千二百九十四圓ニ達ス更ニ之ヲ原因別ニ觀レバ取戻ノ不始末三十四件(一割一分)乾燥場ノ不始末二十九件炬燵ノ不始末二十八件焚火ノ不始末二十四件等ヲ主ナルモノトス

消 防 組

昭和四年末現在ノ消防組ハ百七十二組、部數五百六十八部、人員一萬九千六百三十人ニテ組織ス之ヲ前年ニ比スレバ組數部數ニ於テ異動ナク人員ニ於テ三十五人ヲ減少セリ又自動車唧筒二臺、瓦斯倫唧筒十一臺ヲ増加セリ

狩 獵

昭和四年中ニ狩獵免許狀ヲ下附セシ人員ハ一等人、二等十三人、三等九百九十人ナリ而シテ甲種三百十人、乙種六百九十四人ナリ、又捕獲セシ鳥獸ハ鳥類七十六萬五千四百羽價額十三萬六千六百十四圓、獸類一萬二頭、價額四萬九千八百四圓ナリ、捕獲セシ鳥獸ノ内重ナルモノハつぐみ五十一萬七千六百二十四羽、まみちやじない七萬二千九百八十一羽、ひわ四萬五千六百七十三羽、しるはら四萬六百八十七羽、あとり二萬七千六百五十二羽、ひよごり一萬九千八百六十五羽、兎四千八百三十二頭、いたち三千三百九十八頭、たぬき八百〇九頭、てん五百二十頭等ヲ重ナルモノトス

衛 生

醫 師

昭和四年末現在ニ於ケル醫師ノ總數ハ三百八十九人(内女醫師七人)ニシテ醫師一人ニ對スル現在人口ハ千五百四十二人ニ當レリ而シテ之ガ分布狀況ヲ觀ルニ福井市九十一人、今立郡五十一人、敦賀郡二十八人南條郡二十八人ハ多キ地方ニ屬シ大飯郡六人が最モ少シ之ヲ經歷別ニ觀レバ大學卒業五十八人(一割四分)官公立專門學校二百十四人(五割五分)試験及第九十七人(二割四分)ナリ

齒 科 醫 師

昭和四年末現在ニ於ケル齒科醫師總數ハ七十七人(内女齒科醫師四人)ニシテ前年ニ比シ五人増加セリ(女二人、男三人)其ノ經歷ハ官公立專門學校卒業四十四人、試験及第三十二人ナリ

ト ラ ホ ー ム 檢 診

昭和四年中ニ於ケル「トラホーム」檢診人員ハ四萬八千三百六十七人、内患者ト決定セル人員ハ六千九百十八人ニシテ檢診人員百ニ對スル患者ノ百分比ハ十四人三(前年ハ十三人二)ノ割合ナリ患者ト決定セル人員中重症千七百七十一人(一割七分)輕症四千三百三十八人(六割)疑似症千六百九人(二割三分)ナリ

傳 染 病 患 者

昭和四年中ニ於ケル傳染病患者數ハ二百二十二人ニシテ前年ヨリ十一人増加セリ而シテ腸窒扶斯最モ多ク百十三人(五割一分)ヲ占メ實扶埜里亞七十三人ニシテ(三割三分)之ニ次ギ赤痢二十人(九分)バラチアス十二人(五分)猖紅熱四人(二分)ナリ又患者百人中死亡率ヲ觀レバ次ノ如シ

腸窒扶斯	21.2	實扶埜里亞	13.7
赤痢	10.0	バラチアス	16.6
猖紅熱	25.0		

花 柳 病 患 者

昭和四年中病院又ハ開業醫ニ於テ取扱ヒタル花柳病患者ハ七千九百四十三人ニシテ内男五千五百七十五人(七割)女二千三百六十八人(三割)ナリ之ヲ前年ニ比スレバ男八百四十人(一割四分九厘)ヲ増シ女千四十一人(四割三分九厘)ヲ減シ總數ニ於テ二百一人(二分五厘)減少セリ更ニ之ヲ病類別ニ觀レバ梅毒二千五百三十四人(三割一分八厘)淋病三千八百十三人(四割七分八厘)軟性下疳千五百九十六人(二割三厘)ナリ

病 院

昭和四年末現在ノ病院數ハ十二ニシテ年内患者總人員ハ五萬六千五百四十五人ニシテ前年ニ比シ七千六百十六人ヲ減少セリ患者ヲ病類別ニ觀レバ神經系五管病一萬一千四百二十四人(二割二厘)最モ多ク呼吸器病一萬一千七十三人(一割九分五厘)消化器病一萬六百八十一人(一割八分八厘)之ニ亞ギ

泌尿及生殖器病八千三百三十六人(一割四分三厘)ヲ主ナルモノトス而シテ呼吸器病ノ中肺病千七百七十五人ナリ

工 場

適 用 工 場

昭和四年十月一日現在ノ調査ニ係ル工場總數ハ一千六百十二ニシテ内工場法第二十四條ニ依ル法ノ一部適用工場五百三十九アリ更ニ業務分類ニスレバ染織工場一千二百五十六(總數ノ七割八分弱)機械器具工場六十六(總數ノ四分一厘弱)化學工場七十九(總數ノ四分九厘強)飲食物工場十(總數ノ六厘強)雜工場百四十七(總數ノ九分一厘弱)特別工場五十四(總數ノ三分三厘強)ニシテ前年同期ノ數ト比較スルニ總數ニ於テ六百二十六工場ノ増加ヲ示セリ之レ主トシテ工場法改正ノ結果原動力ヲ用フル織物業及擦絲業ニシテ常時十人未滿ノ職工ヲ使用スル工場ニ法ノ一部ヲ適用セラル、コトトナリタル爲ナリ而シテ職工數ニ於テ見ルニ男七千二百八十人女二萬三千五百五十五人ニシテ前年同期ニ比シ男九百九十五人女四千六百九十一人ノ増加ヲ示シ更ニ大正十三年ノ情勢ト比較スルニ實ニ工場數ニ於テ一千百三十二、職工數ニ於テ一萬二千六百八人ノ激増ニシテコレ法ノ改正ニ伴フ適用範圍ノ擴張ニ由ルト雖モ又一面工場ノ逐年増加ヲ示スモノナリ

工 場 災 害

昭和四年中ニ於ケル工場災害ニ因ル職工ノ死傷ハ死亡者男四人、負傷者男百七十八人、女四十五人ニシテ前年ニ比シ負傷者ニ於テ男十七人女五人ノ減少ヲ見タリ工場及職工ノ増加ニ反シ災害ノ減少シタルハ工場安全週間ノ施行其ノ他危害豫防設備ノ改善ニ依ルト見ルヲ得ベシ

職 工 扶 助 金 額

昭和四年中ニ於テ工業主ノ爲シタル職工ノ扶助ハ總額五千九百九十九圓六十六錢ニシテ之ヲ前年ニ比シ二千六百九十九圓三十六錢ヲ増加セルハ主トシテ遺族扶助料ニ於テ増加シタルモノナリ

職 工 貯 蓄 金

昭和四年末ニ於ケル工場法適用工場中職工貯蓄金ヲ管理スル工場百四十一貯蓄職工數七千六百五十五人其ノ貯蓄金總額十八萬三千六百五十九圓ニシテ之ヲ前年ニ比較スルニ貯蓄工場

ニ於テ三十六職工ニ於テ二百五十四人ノ増加ニ反シ貯蓄金額ニ於テ九千九百八十四圓ノ減少ヲ示シタリ

原 動 機

昭和四年末現在ニ於ケル原動機取締規則ニ依ル原動機總數ハ四千八百八十一個二萬八千五百八十六馬力ニシテ之ヲ前年末ニ比較スルニ箇數ニ於テ四百十五個馬力ニ於テ一千五百七十四馬力ノ増加ナリ

健 康 保 險

被 保 險 者

昭和五年三月末ニ於ケル管内政府管掌被保險者ノ總數ハ二萬二千百十九人ニシテ之ヲ前年三月末ニ比シテ百二十一人ヲ増加シ年度内ニ新資格取得其ノ他ノ事由ニ依リ増加セル者一萬一千六十八人ニシテ資格喪失其ノ他ノ原因ニ依リ一萬九百四十七人ヲ減セリ尙之ヲ標準報酬等級別ニ觀ルトキハ七級者(八十五錢以上一圓十五錢未滿)最モ多ク總數ノ二割一分ヲ占メ次テ五級者(六十五錢以上七十五錢未滿)ノ一割七分四級者(五十五錢以上六十五錢未滿)ノ一割五分順次之ニ亞キ十五級者(三圓二十五錢以上三圓七十五錢未滿)ハ僅ニ五人ニシテ十六級ハ皆無ナリ而テ平均標準報酬日額ハ七十九錢九厘ナリ

工 場、事 業 場 及 事 業 數

昭和五年三月末現在ニ於ケル政府管掌工場、事業場及事業ノ總數ハ一千ニシテ前年三月末ニ比シ五十一人ヲ増加セリ

保 險 料

昭和四年度ニ於テ徵收シタル保險料總額ハ二十六萬三千二百二十一圓ニシテ前年度ニ比シ二萬九百六十九圓ヲ増加セリ

保 險 ノ 成 績

昭和四年度ニ於ケル保險給付ノ總件數ハ七萬三千二百二十四件ニシテ之ニ要シタル給付額ハ三十二萬一千八百四十三圓ナリ之ヲ前年度ニ比スレバ件數ニ於テ一萬百二件、金額ニ於テ三萬七千四百九圓ヲ増加セリ

總シテ管内ハ機業工場多數ナルヲ以テ被保險者ハ女カ其ノ總數ノ約八割ヲ占メ然モ有夫ノ者、通勤ノ多キ爲メ分婉ニ關スル給付金多額ニ達ス又一面標準報酬モ漸次低下シ保險料ノ收入モ逐年遞減ノ傾向ヲ示シ昭和四年度ノ收支ニ於テ九萬四千八百四十一圓(事務費ハ含マズ)ヲ減少セリ